



成果指標					
成果指標					0
指標設定の考え方					0
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度	
目標	0	0	0	0	
実績	0	0	0	0	

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>今後、構築されたシティブランドと協調した(仮称)伊豫国「あじの郷」ブランドの指定制度を導入・旗印として、別途ブラッシュアップされた産品やi-Project試作品の売れる物化を推進する必要がある。また、好評のキッズキッチンに加え、“みそ”を題材とした小・中学生を対象とした食育教室の開催や、新産品としてジビエ等についても検討する必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>本市の活性化及び地域振興の面では非常に重要な施策であると考えられる。しかしながら、民間活力が十分に発揮されてなく、行政主導での活動が中心となっているために、今後組織の見直しや実行委員会のメンバーの人選など多くの課題を残しているものと考えられる。平成27年度はその改革の年とすることが重要であろう。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・自己の課題認識に書かれている内容(シティブランド、i-project試作品など)がよく分からない。・あじの郷づくりはインパクトがない。民間があまり動いておらず、地域資源はあっても活発化していない。全面的見直しということで、是非新たな取組でやっていただきたい。・行政がやると次から次へと課題が出てくる。やはり民間が本気を出してやる、行政はアドバイス部分の立場でやっていく。民間に早く1人立ちしてもらい、継続的にやっていくのが一番だと思う。・キッズキッチンなど食育が大事というのは分かるが守備範囲が広すぎる。1人がブランドづくりに専念する方が良い。・こういう事業にこそ、地域おこし協力隊等々の人材を活用すれば良いのではないか。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>下記の点を見直しの上、継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>民間活力が発揮されていないこと、また伊豫國あじの郷づくり実行委員会の活動が低調なことから、組織の見直しを図り、民間に対する啓発活動を強めること。</p>